

大宮区自治連だより

第30号
平成30年9月

リーダー視察研修会《平成30年9月4日～5日 ハッ場ダム・伊香保温泉観光ガイドの会(群馬県)》

◆ハッ場ダム◆

ハッ場ダム（やんばダム）は昭和27年、カスリーン台風（昭和22年）による大被害を受け、利根川上流にダムを築いて洪水調節を行い、下流部の洪水被害の軽減を図るための治水事業の一環として計画されました。

利根川の主要な支流である吾妻川中流部、群馬県吾妻郡長野原町川原湯地先に建設が進められており、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道及び工業用水の新たな確保並びに発電を目的とする多目的ダムです。

工期（完成予定年度）は平成31年度、建設に要する費用の概算額は約5,320億円を予定しています。

視察研修会当日はあいにくの荒天となり、工事現場の見学はできませんでしたが、「なるほど！やんば資料館」を見学し、ダムに関する見識を深めました。



◆伊香保温泉観光ガイドの会◆

伊香保温泉観光ガイドの会「遊友」は、伊香保温泉を訪れるお客様に、観光名所や史跡など温泉地としての独特な歴史・文化等の魅力を伝え、より多くの思い出を持ち帰っていただくことを目的に、観光ガイドを行っている団体です。

視察研修会では、宿泊先の会議室に同会の副会長兼事務局長である入澤勉氏をお招きし、「伊香保の歴史・文化について」と題してご講演いただきました。



2018 大宮区民ふれあいフェアが開催されます

区自治会連合会の正副会長が実行委員として参加している大宮区民ふれあいフェアが、10月27日(土)に、大宮駅西口鐘塚公園周辺において開催されます。大宮区民ふれあいフェアは、各種展示やステージ発表、子どもふれあいコーナーなどが設けられ、幅広い世代が楽しめる催しとなっています。今年はイベント広場で、ダンスパフォーマンスの披露やアルディふわふわドームの設置を予定しています。

ふれあいフェアの詳細は、市報さいたま10月号と同時配布のチラシをご確認ください。



活動紹介／桜木地区自治会連合会

◆桜木町四丁目自治会の紹介◆

桜木町四丁目自治会は、大宮駅西口より10分～20分ほどの所にある自治会です。

北は川越新道、南は中央区の八幡通り近くまでの、南北に細長い、静かな環境の高台にある、「災害が避けて通るさいたま市」の中でも水害の心配の無い住宅地です。

自治会員も835世帯を数え、ドーナツ化現象の進んでいる桜木地区では1番の大所帯の自治会となっております。

それに伴い、自治会活動への参加者も多数となり、それを裁く役員の数に足りていないのが現状です。

自治会活動としては、夏祭り、運動会、敬老会、バス旅行などがあり、自治会役員の協力で何とか運営しておりますが、これから益々高齢化の時代が進んでいくことになり、役員不足が増大することが予想されます。

若い人たちが、自治会の意義、役割をご理解いただき、自治会役員となって地域活動に貢献して、地域の発展と絆を深めることができるよう願っております。



活動紹介／北部地区自治会連合会

◆土手町2丁目自治会の紹介◆

土手町2丁目には、土手町（1～3丁目）の鎮守を担う多子稲荷神社があります。由緒書によると、多子稲荷神社は、旧土手宿村の鎮守として祀られ、今の本殿は天保年代に建立されたものであるとのことです。明治27年に鉄道の敷設のため現在地に移転し、昭和28年に改築され現在に至っています。また、氷川神社との関係が深く、氷川神社の社家・西角井家などが宮司を務めていました。清掃や草取り、軽微な修繕等は地元の2丁目が奉仕していますが、維持管理や初午祭等は3町内で取り組んでいます。



多子稲荷神社は自治会活動と深く結びついていて、境内の片隅には3町内の倉庫が軒を並べている他、集会所として使用している施設（家屋）もあります。昔、人が住んでいた時代もありましたが、その後に改造され、自治会の役員会や老人会、子供会の集会等に利用されてきました。

倉庫には夏祭りや運動会の用具が保管される等、自治会活動の拠点としての役割を果たしてきました。その集会場も今や老朽化し、建て替えが課題となっています。2丁目と隣接する3町目で組織された委員会では具体的な検討が始まっていて、朗報をお届けできることを楽しみにしています。

【発行・編集】

さいたま市大宮区自治会連合会

【事務局】 大宮区役所コミュニティ課内

大宮区大門町3丁目1番地

電話：646-3021

FAX：646-3161